

令和元年度研究開発学校研究協議会

2020年1月17日

(於 学術総合センター 一橋講堂)



「地理総合」「歴史総合」の 開発と実践

神戸大学附属中等教育学校

高木 優

研究開発課題

グローバル人材育成に向けて、地理歴史科を再編成して「**地理総合**」「**歴史総合**」（**必履修科目**）を設置し、中高一貫教育課程に位置付けながら、その学習内容と方法、評価について研究開発を行う。

研究開発の経緯①

平成29年度

4月18日(火)	校内研究委員会①	10月31日(火)	校内研究委員会⑮
4月25日(火)	校内研究委員会②	11月7日(火)	校内研究委員会⑯
5月2日(火)	校内研究委員会③	11月14日(火)	校内研究委員会⑰
5月9日(火)	校内研究委員会④	11月21日(火)	校内研究委員会⑱
5月30日(火)	校内研究委員会⑤	11月28日(火)	校内研究委員会⑲
6月13日(火)	校内研究委員会⑥	12月12日(火)	校内研究委員会⑳
6月20日(火)	校内研究委員会⑦	12月19日(火)	校内研究委員会㉑
6月27日(火)	校内研究委員会⑧	1月23日(火)	校内研究委員会㉒
7月11日(火)	校内研究委員会⑨	1月30日(火)	校内研究委員会㉓
7月18日(火)	校内研究委員会⑩	2月6日(火)	校内研究委員会㉔
9月5日(火)	校内研究委員会⑪	2月13日(火)	校内研究委員会㉕
10月10日(火)	校内研究委員会⑫	2月20日(火)	校内研究委員会㉖
10月17日(火)	校内研究委員会⑬	2月27日(火)	校内研究委員会㉗
10月24日(火)	校内研究委員会⑭		

研究開発の経緯①

平成30年度

4月 2日 (月)	校内研究委員会①	9月 25日 (火)	校内研究委員会⑬
4月 17日 (火)	校内研究委員会②	10月 9日 (火)	校内研究委員会⑭
4月 24日 (火)	校内研究委員会③	10月 16日 (火)	校内研究委員会⑮
5月 1日 (火)	校内研究委員会④	10月 30日 (火)	校内研究委員会⑯
5月 8日 (火)	校内研究委員会⑤	11月 20日 (火)	校内研究委員会⑰
5月 22日 (火)	校内研究委員会⑥	11月 27日 (火)	校内研究委員会⑱
5月 29日 (火)	校内研究委員会⑦	12月 18日 (火)	校内研究委員会⑲
6月 12日 (火)	校内研究委員会⑧	1月 8日 (火)	校内研究委員会⑳
6月 19日 (火)	校内研究委員会⑨	1月 29日 (火)	校内研究委員会㉑
6月 26日 (火)	校内研究委員会⑩	2月 5日 (火)	校内研究委員会㉒
7月 10日 (火)	校内研究委員会⑪	2月 12日 (火)	校内研究委員会㉓
7月 17日 (火)	校内研究委員会⑫	2月 26日 (火)	校内研究委員会㉔

研究開発の経緯①

令和元年度

4月 1日 (月)	校内研究委員会①	9月 2日 (月)	校内研究委員会⑬
4月15日 (月)	校内研究委員会②	10月28日 (月)	校内研究委員会⑭
4月22日 (月)	校内研究委員会③	11月11日 (月)	校内研究委員会⑮
5月13日 (月)	校内研究委員会④	11月18日 (月)	校内研究委員会⑯
5月22日 (水)	校内研究委員会⑤	11月25日 (月)	校内研究委員会⑰
5月27日 (月)	校内研究委員会⑥	12月 9日 (月)	校内研究委員会⑱
6月10日 (月)	校内研究委員会⑦	12月16日 (月)	校内研究委員会⑲
6月17日 (月)	校内研究委員会⑧	1月27日 (月)	校内研究委員会⑳
6月24日 (月)	校内研究委員会⑨	2月 3日 (月)	校内研究委員会㉑
7月 1日 (月)	校内研究委員会⑩	2月10日 (月)	校内研究委員会㉒
7月 8日 (月)	校内研究委員会⑪	2月17日 (月)	校内研究委員会㉓
7月22日 (月)	校内研究委員会⑫	3月 9日 (月)	校内研究委員会㉔

研究開発の経緯②

平成29年度

7月28日(金)	全国地理教育研究会大阪大会
8月18日(金)	福井県教育研究所「実践型研修講座」
11月25日(土)	山口県世界史教育研究会
2月12日(月)	社会系教科教育学会第29回研究発表大会
3月23日(金)	地理教育公開講座(東京学芸大学)
6月8日(木)	熊本県立熊本北高等学校訪問
10月20日(金)	高知大学・高知県立国際高等学校訪問
12月11日(月)	静岡県立韮山高等学校訪問
6月16日(木)	高水高等学校来校

研究開発の経緯②

平成30年度

7月14日(土)	奈良地理学会夏季例会
7月25日(水)	全国歴史教育研究協議会第59回研究大会
10月13日(金)	明治大学人文科学研究公開文化講座
12月 2日(日)	長野県高等学校歴史教育研究会
9月14日(木)	鳥取県立鳥取西高等学校訪問
9月28日(金)	徳島県立脇町高等学校訪問
11月14日(水)	静岡県立裾野高等学校訪問
12月6日(木)	北海道小樽潮陵高等学校訪問
4月26日(木)	中日新聞社取材
6月19日(火)	教科書調査官来校
6月20日(水)	徳島県立脇町高等学校・市岡高等学校来校
7月 9日(月)	大分県教育委員会来校
2月13日(水)	徳島県立脇町高等学校来校

研究開発の経緯②

令和元年度

4月30日(火)	長野県高等学校歴史教育研究会授業活性化研修会
7月29日(月)	福井県教育研究所「実践型研修講座」
8月4日(日)	兵庫地理学協会夏季研究大会(灘高等学校)
8月22日(木)	徳島県立脇町高等学校出張授業
12月5日(木)	高等学校各教科等教育課程研究協議会
3月28日(土)	日本地理学会地理教育公開講座(駒澤大学)
10月3日(木)	徳島県立脇町高等学校訪問
11月6日(水)	岡山県立津山高等学校訪問
11月19日(火)	千葉県立成田国際高等学校訪問
7月2日(火)	大分県教育委員会来校
7月3日(水)	高知県立山田高等学校来校
9月25日(水)	鹿児島県立加治木高等学校来校
11月15日(金)	高橋昌明神戸大学名誉教授出張授業
11月22日(金)	広島県立教育センター来校 令和元年度研究開発活動報告書(令和2年1月)

研究開発の経緯③

令和元年度

第1回運営指導委員会	6月29日(木)	56名
第2回運営指導委員会	10月30日(月)	171名

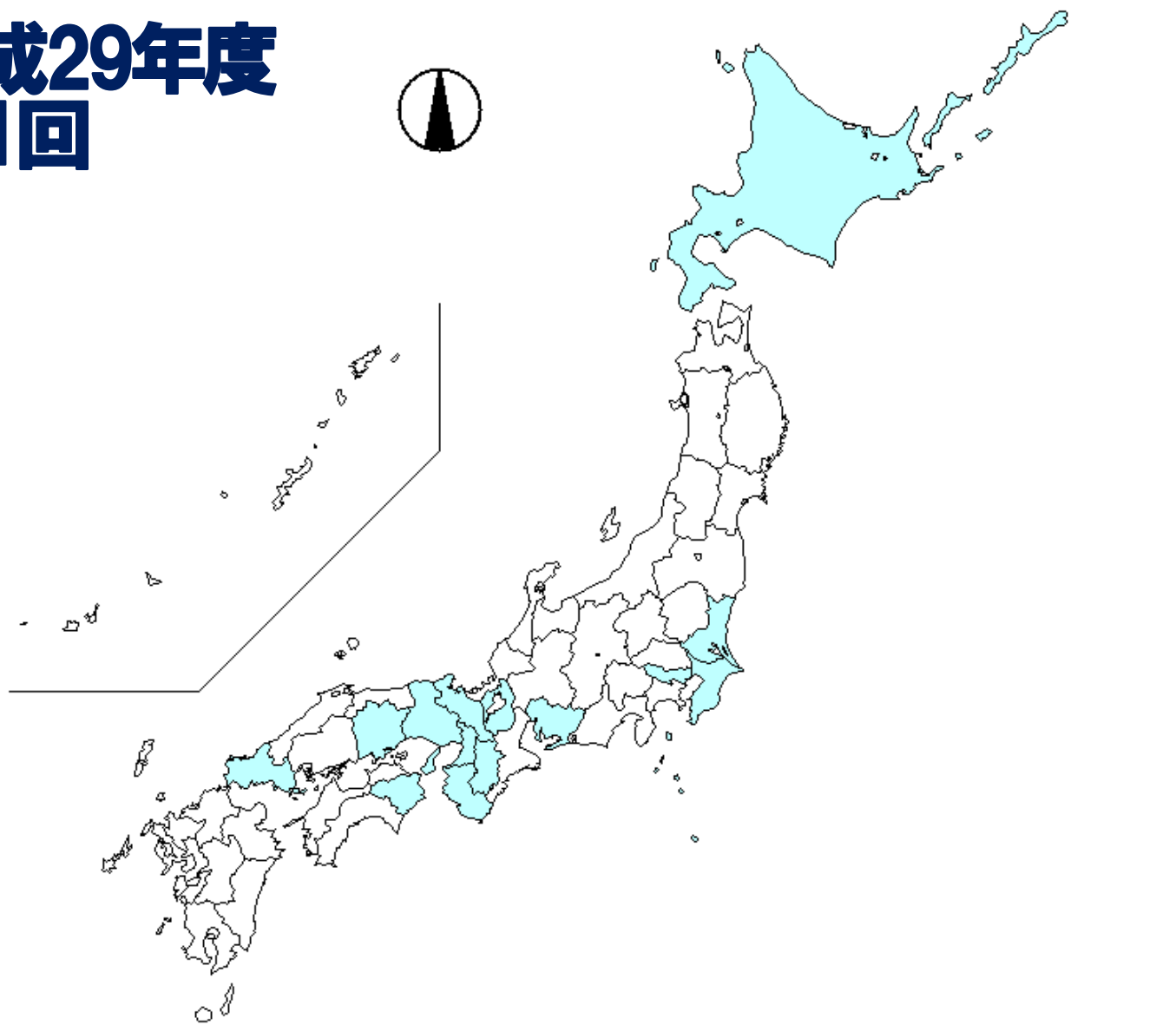
平成30年度

第1回運営指導委員会	6月22日(金)	59名
第2回運営指導委員会	10月22日(月)	103名

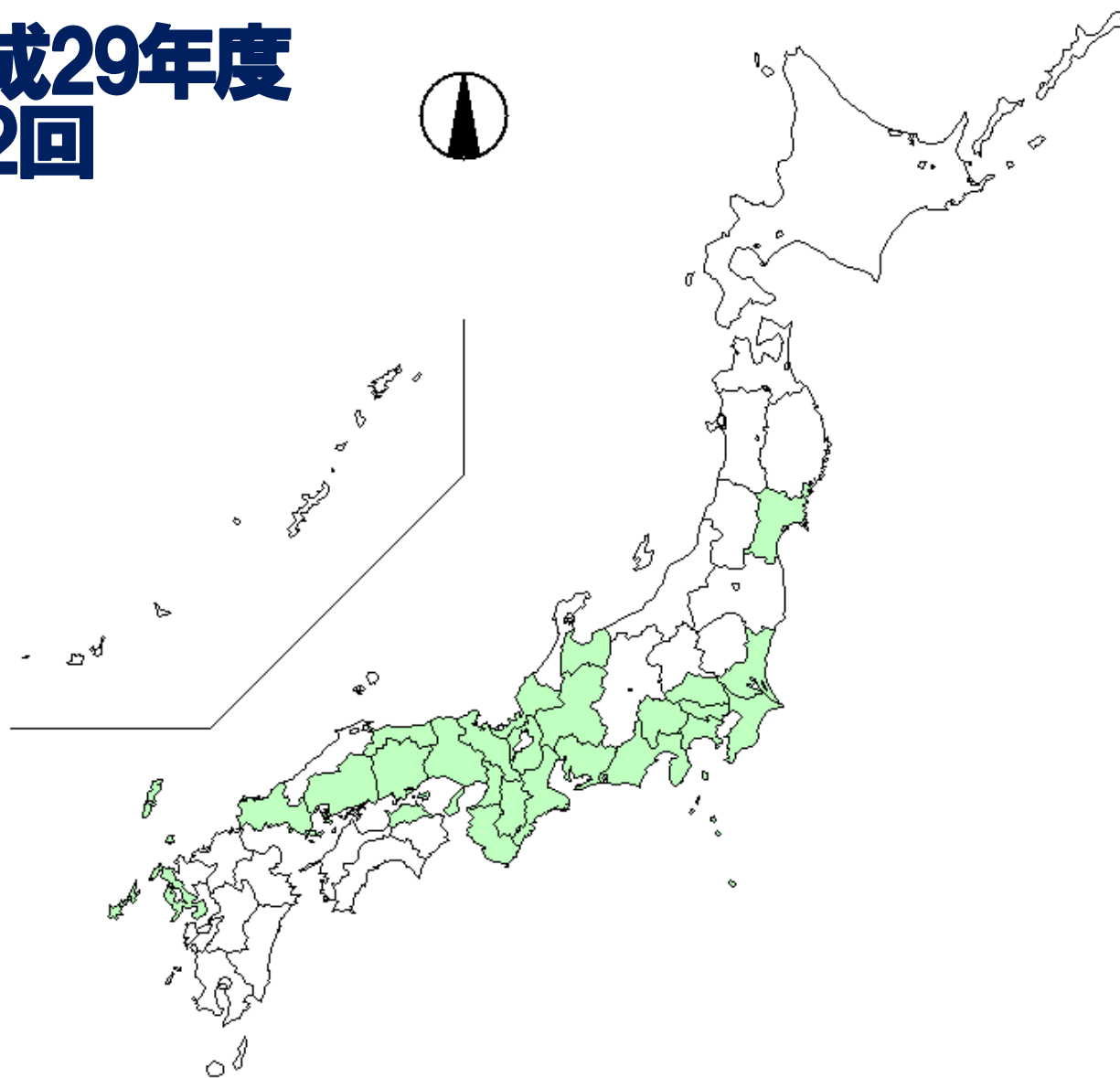
令和元年度

第1回運営指導委員会	6月21日(金)	70名
第2回運営指導委員会	10月21日(月)	113名

平成29年度 第1回

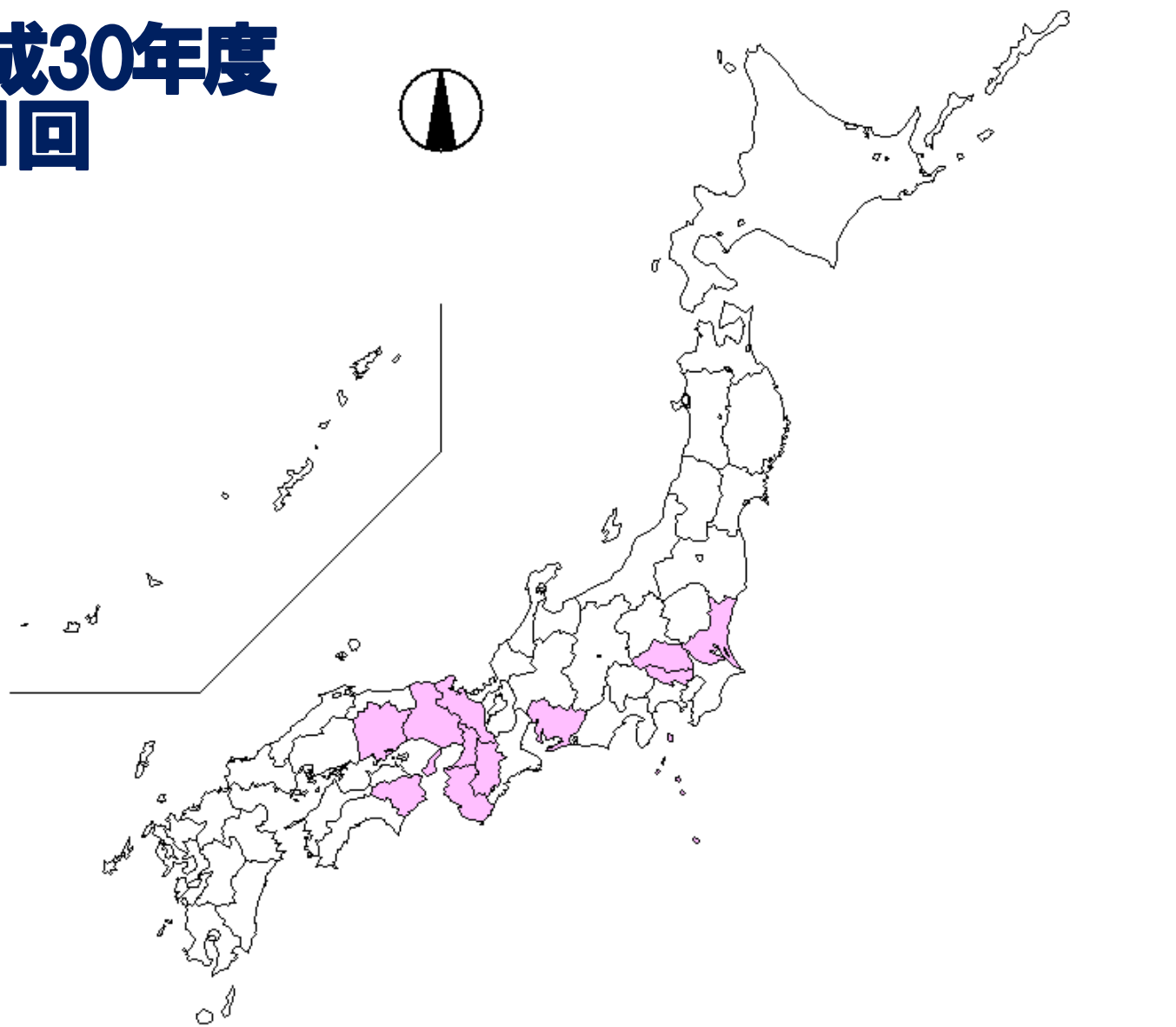


平成29年度 第2回

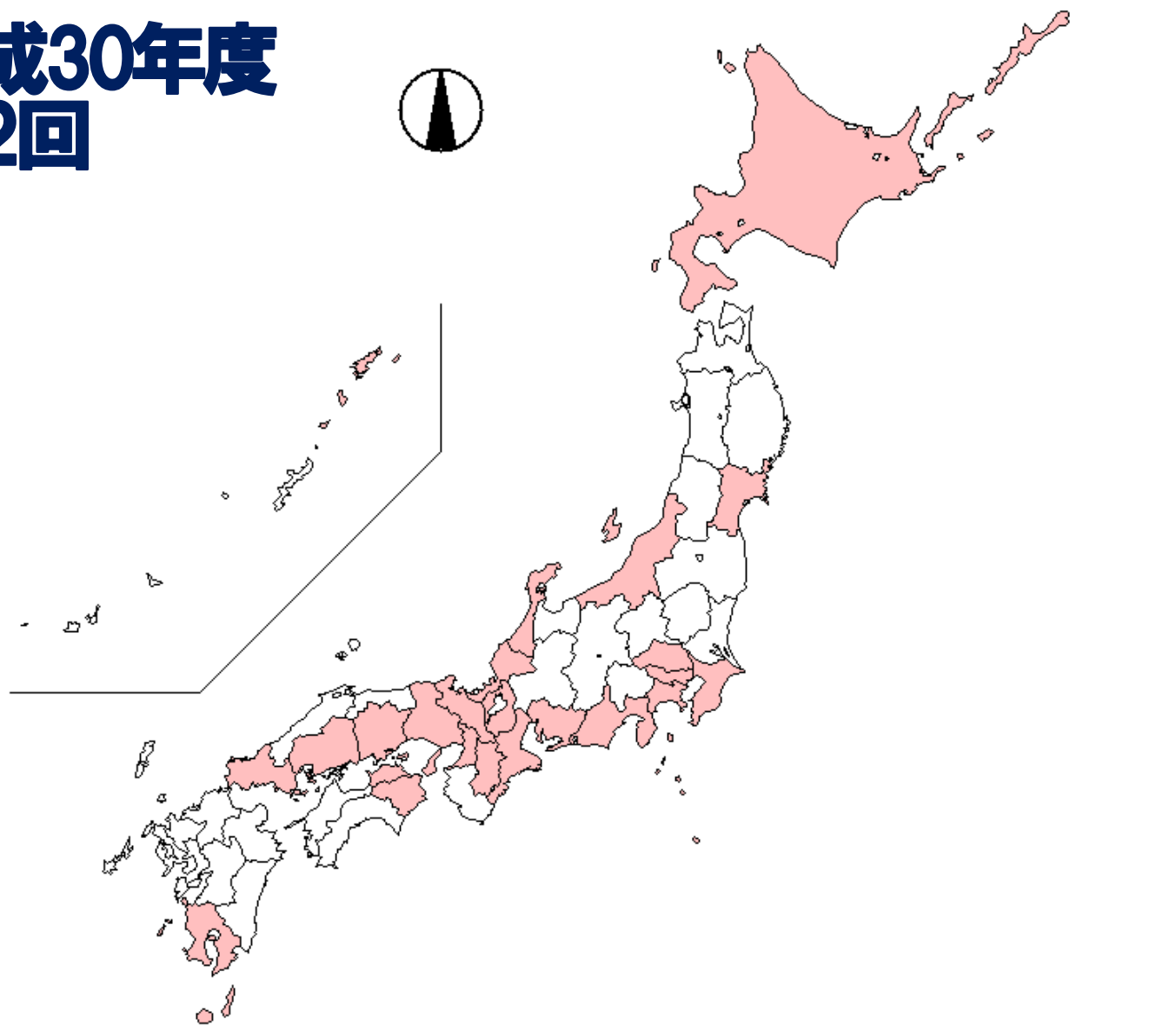


0 400km

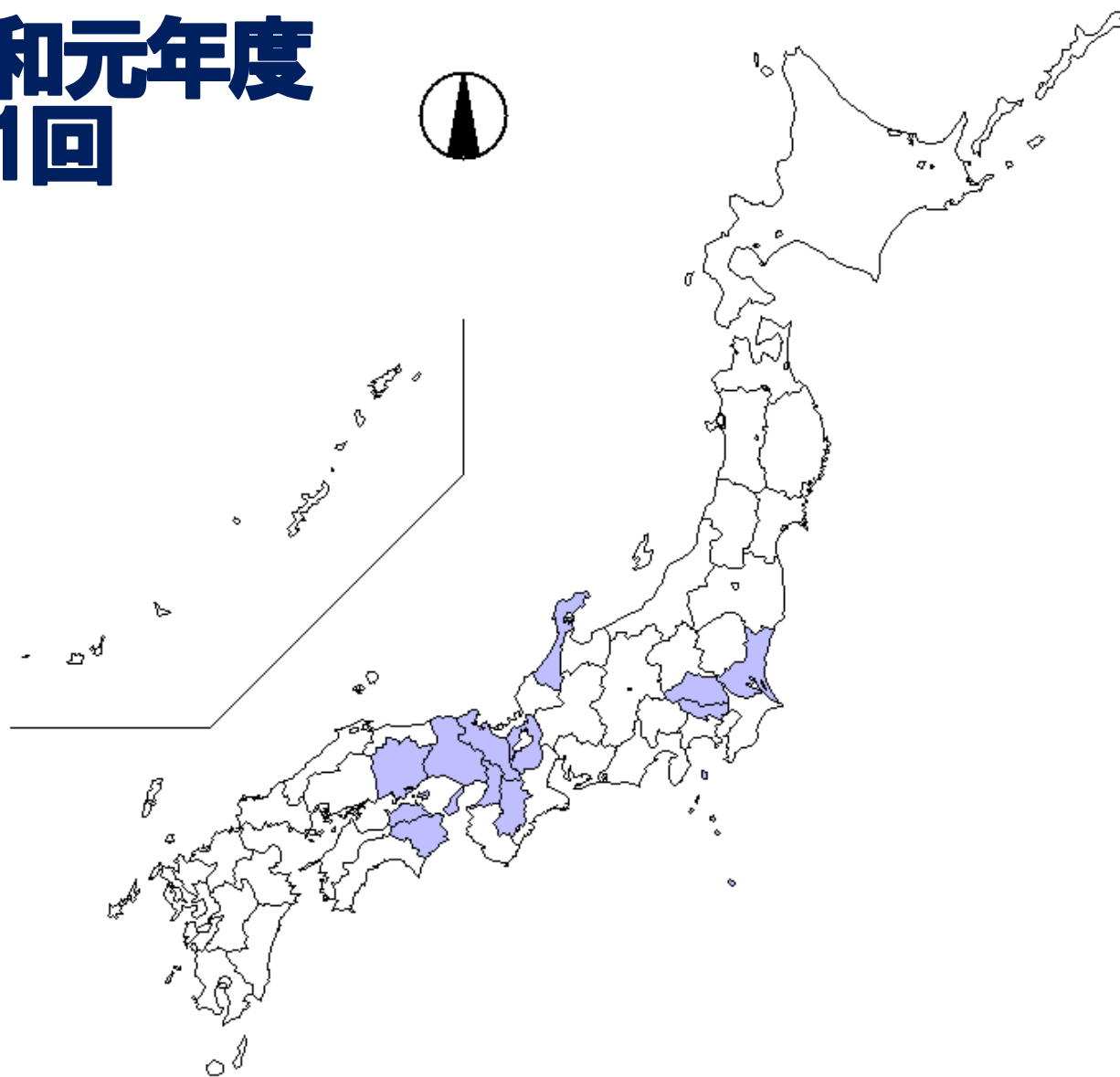
平成30年度 第1回



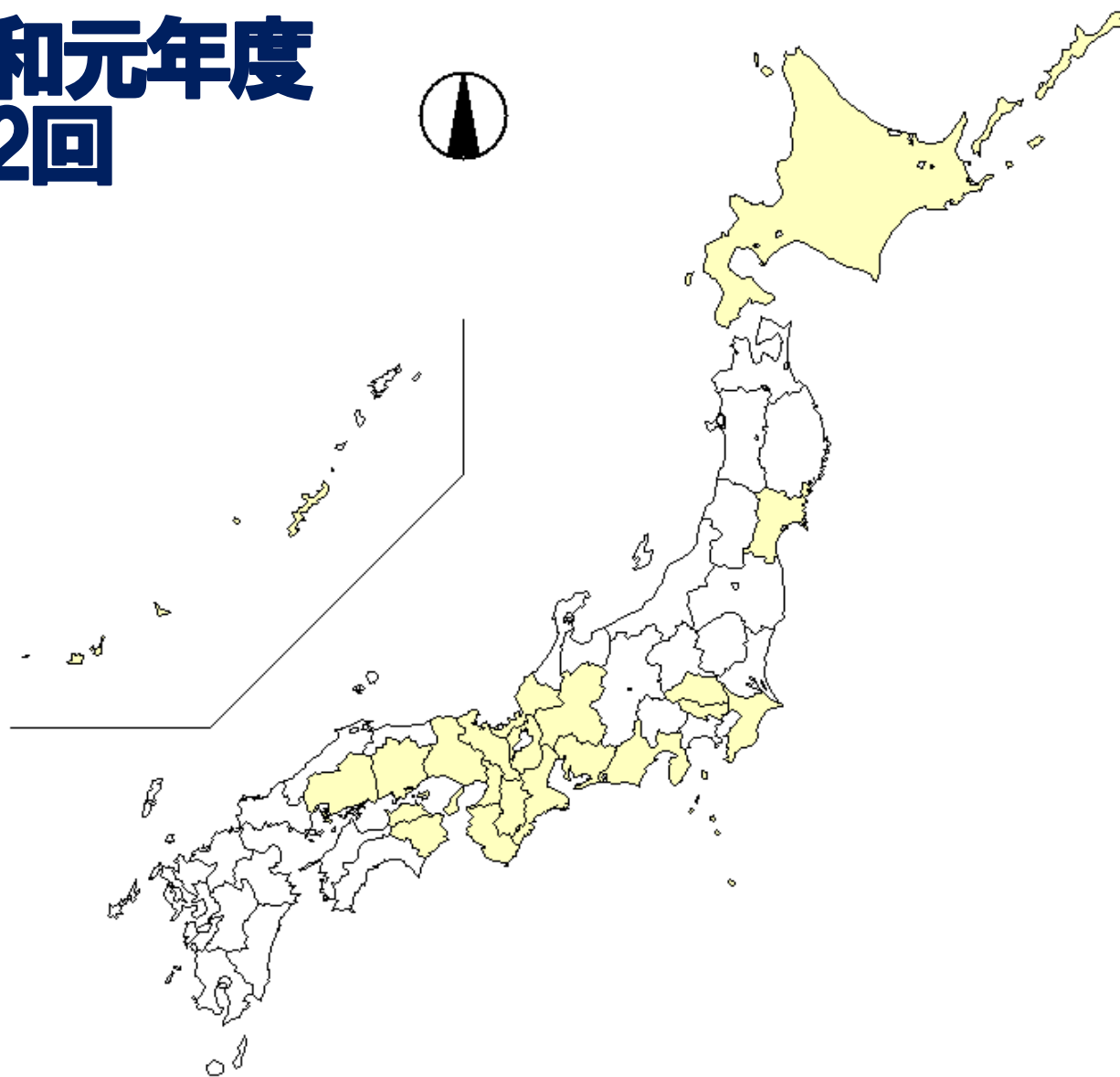
平成30年度 第2回



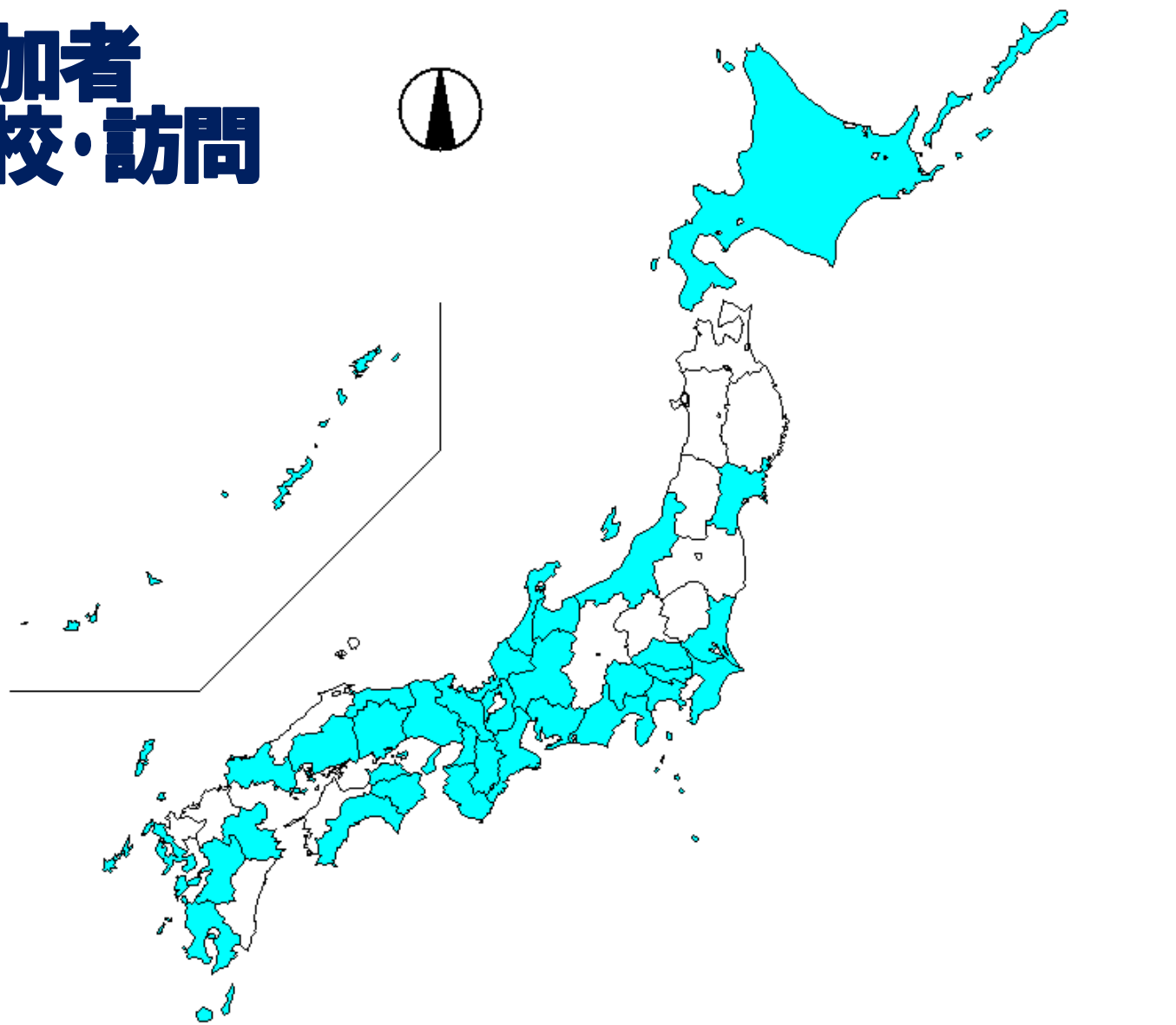
令和元年度 第1回



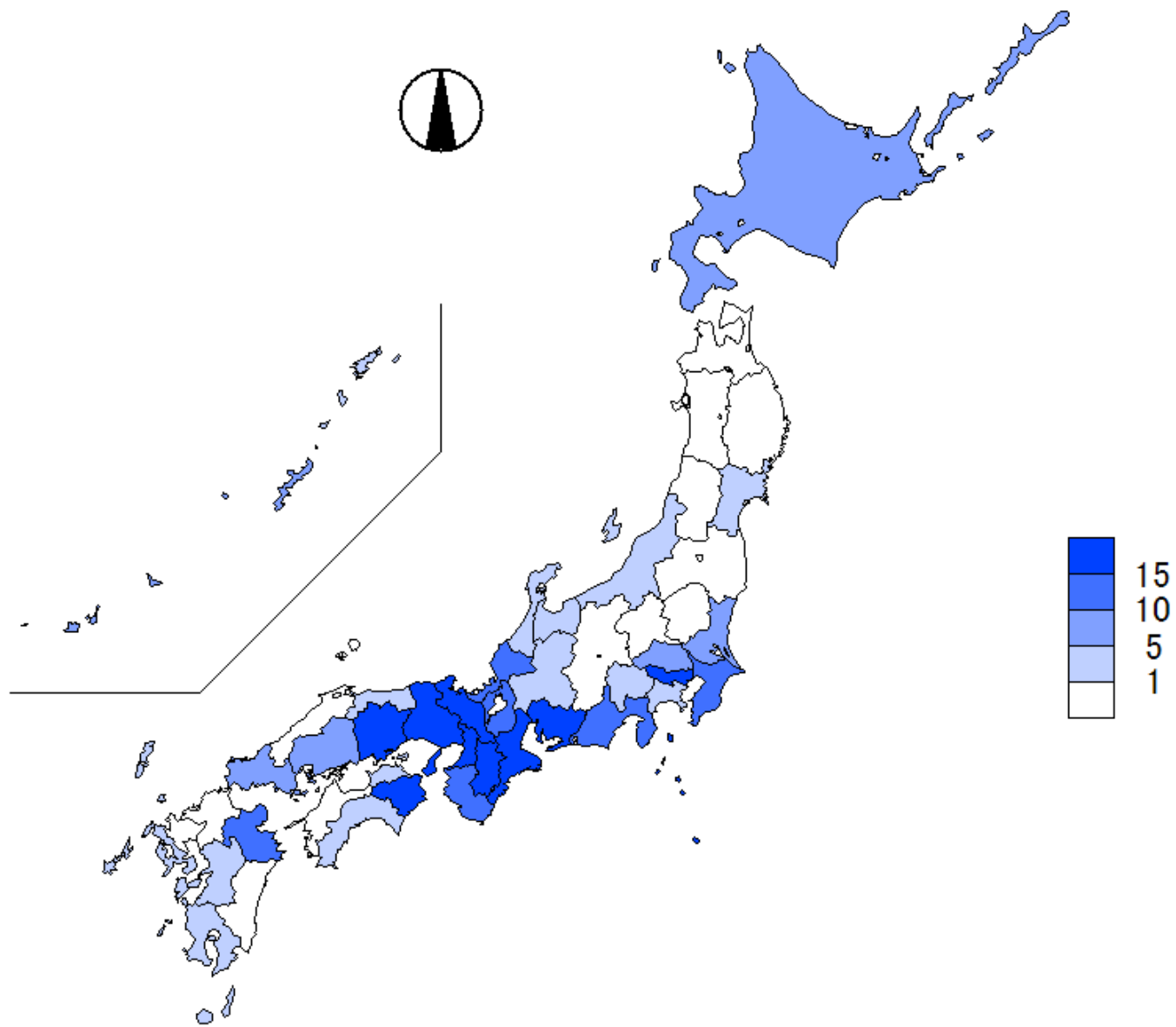
令和元年度 第2回

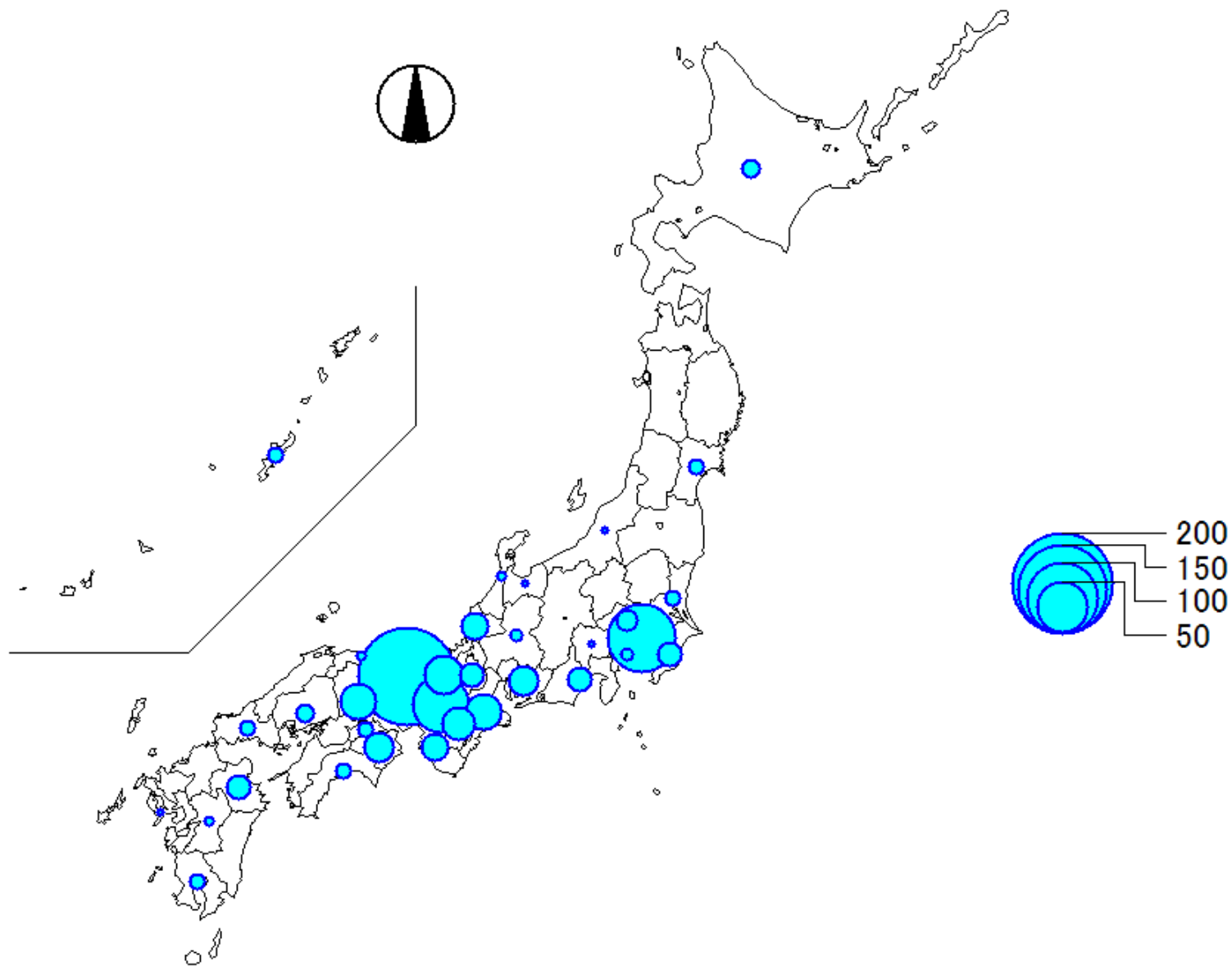


参加者 来校・訪問



0 400km





研究の概要①

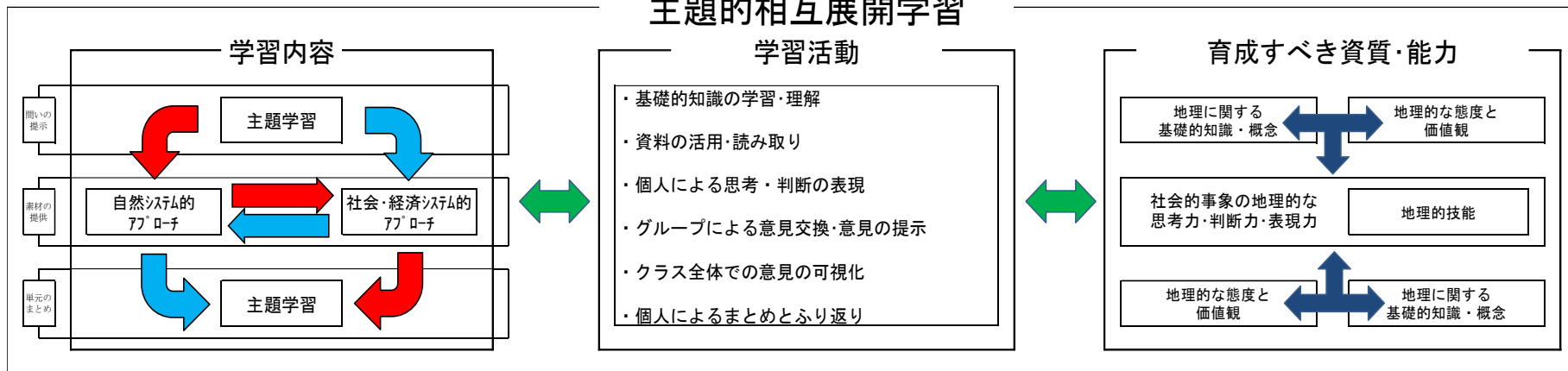
グローバルな時空間認識を通して、
グローバル人材としての資質・
能力を育成する「地理総合」「歴史
総合」を必修科目として設置し
実践するとともにその汎用性を検証
する。

「地理総合」

現代世界の**地球的課題**や生活圏の**地域的課題**に興味をもてるような**主題学習**のために、地球規模の自然システムのアプローチや社会・経済システムのアプローチを学習内容及び学習活動の両面で相互に関連付けて学習する「**主題的相互展開学習**」

「地理総合」

主題的相互展開学習



年間計画



	主題学習	自然系統的アプローチ, 社会・経済系統的アプローチ
A 地図や地理情報システムで捉える現代世界	(1) 地図や地理情報システムと現代世界 地図や地理情報システムから読み取る地球環境問題 地球温暖化 地球温暖化の現状はどのようになっているのだろうか	GIS 主な視点 位置や分布 地図や地理情報システムで捉える現代世界 現代世界はどのように表現されているのだろうか
B 国際理解と国際協力	(1) 生活文化の多様性と国際理解 生活文化の多様性から理解する現代世界 世界の衣食住 世界の衣食住はなぜ違っているのだろうか 熱帯林の減少 熱帯林減少の要因はどの地域でも共通なのだろうか	グローバル・ESD 主な視点 場所・人間と自然環境との相互依存関係 【自然系統的アプローチ】 大気の大循環と海洋の大循環 気候の違いはなぜ生まれるのだろうか 食生活の違いについて なぜ東南アジアでは米や油やし、ブラジルではさとうきびやコーヒーの栽培が盛んになったのだろうか 【社会・経済系統的アプローチ】 世界の衣食住 同じ気候でもなぜ衣服・食文化・住居は異なるのだろうか 食文化の変容について なぜトナムの街かどではフランスパンが売られ、コーヒーが栽培されるようになったのだろうか なぜブラジルでは大豆の栽培が盛んになったのだろうか
	(2) 地球的課題と国際協力 地球的課題を踏まえた国際協力 地域共同体 日本はその地域と地域共同体をつくれれば良いのだろうか	グローバル・ESD 主な視点 空間的相互依存作用・地域 【自然系統的アプローチ】 水資源の偏在 なぜ乾燥する地域があるのだろうか 【社会・経済系統的アプローチ】 エネルギー資源の偏在 資源の枯渇に対してどのような対策が取られているのだろうか 【事例地域】 砂漠での生活と開発～西アジアを事例に～ 石油収入以外にどのような産業があるのだろうか エネルギー資源の開発～オーストラリアを事例に～ オーストラリアから日本へ運ばれているものは資源だけだろうか 飢餓と飽食 ～バングラデシュとアメリカ合衆国を比較して～ 人口の偏在が食料の偏在をもたらすのだろうか
C 持続可能な地域づくりと私たち	(1) 自然環境と防災 自然環境から想定される 災害への備え 災害への備えや対応～グローバルなスケールで 持続可能な地域づくりのために何を学び何を身に付ければ良いのだろうか	防災・ESD 主な視点 人間と自然環境との相互依存関係・地域 【自然系統的アプローチ】 プレートテクトニクスと自然環境 なぜ地球は現在の姿になったのだろうか 【事例地域】 世界の自然災害～自然環境と自然災害の関係から～ 世界の自然災害に対してどのように協力すれば良いのだろうか 日本の自然災害～日本の事前環境の特徴を踏まえ～ 日本の自然環境の特徴から起きる災害にどのように備えれば良いのだろうか 生活圏の自然災害～必要な備えや対応とは～ 生活圏ではどのような自然災害の可能性が高く、どのような備えや対応が必要なのだろうか
	(2) 持続可能な地域づくり 生活圏の地理的な課題～ローカルなスケールで 持続可能な地域づくりのために生活圏の地域にどのように参画していけば良いのだろうか	防災・ESD 主な視点 空間的相互依存作用・地域 【社会・経済系統的アプローチ】 生活圏の調査と地域の展望 生活圏内や生活圏外の取り組みとの比較、地域の成り立ちや変容から新たに気づく生活圏の地理的な課題はあるだろうか 持続可能な地域づくりにどのように関わっていけば良いだろうか ※総合的な学習の時間や他教科と連携して

年間計画

ラフスケッチ
おもな主題や問い

	主題学習	アプローチ
A 地図や地理情報システム テーマで捉える現代世界	(1) 地図や地理情報システムから 地図や地理情報システムから 地球温暖化 地球温暖化の現状はどのよ いるのだろうか	

B, Cにつながる技能
主題図(絶対分布図と相対分布図)
→二酸化炭素(一人あたり, 国別)
地理院地図→標高

B 国際理解と国際協力	(1) 生活文化の多様性と国際理解 生活文化の多様性から理解する現代世界 世界の衣食住 世界の衣食住はなま違 だろうか 熱帯林の減少 熱帯林減少の要因はどの地域でも共通なの だろうか	グローバル・E
----------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------

生活文化の多様性につながる主題
生活文化の多様性につながる現代の
地理的な諸課題(東南アジアとブラジルの比較)
国際理解を踏まえた現地化

C 持続可能な地域づくりと私たち	(2) 地球的課題と国際協力 地球的課題を踏まえた国際協力 地域共同体 日本はどの地域 良いのだろうか	グローバル・E 【自然システムのアプローチ】
---------------------	------------------------------------------------------------------------	---------------------------

地球的課題の要因となる水, エネルギー資源, 人口, 食料,
資本などの偏在
国際協力を具体的な学習活動につなげる問い

C 持続可能な地域づくりと私たち	(1) 自然環境と防災 自然環境から想定される 災害への備え 災害への備えや対応〜グローバルな 持続可能な地域づくりのために何を学 何を身に付ければ良いのだろうか	
---------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

自然現象が大きな自然災害とならないための
備えとは
→正しく可能性の高い自然現象を把握する技能

C 持続可能な地域づくりと私たち	(2) 生活圏の調査と地域の理解 持続可能な地域づくり 生活圏の地理的な課題〜 持続可能な地域づくりのため 地域にどのように参画して だろうか	
---------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------	--

自然システムのアプローチ, 社会・経済システムのアプ
プローチによる生活圏の把握, 構想か思考・判断か

単元計画

A 地図や地理情報システムで捉える現代世界

(1) 地図や地理情報システムと現代世界

主な視点：位置や分布

GIS

時	各自の主題	各時の問いと主な活動	各時のねらい(評価の場面)	評価の観点
	事前調査	1. 教科への興味・関心に関する調査 2. 地球温暖化に関する事前認識調査 3. 地図や地理情報システムに関する事前認識調査		
1時 ～2時	【主題学習】 地図や地理情報システムで捉える現代世界	問い：現代社会はどのように表現されているのだろうか <small>様々な主題図から情報を読み取り、そのテーマをまとめる。</small>	地図や地図情報システム(GIS)を活用して様々な課題に気づく。	Ⅲ
3時	方位や時差の存在	問い：時差の違いはどのように利用されているのだろうか <small>時差の存在を知り、時差の違いが利用されている例を調べる。</small>	時差の違いが利用されている例を知る。	Ⅳ
4時	日本の位置と領域と 国家間の結びつき	問い：日本はどこまで日本なのだろうか <small>日本の領域を地図から読み取り、国家の存在を地理的に理解する。</small>	国家という存在を通してこれからの地域の在り方を考察する。 国家の三要素である主権・領域・国民を理解する。	Ⅱ Ⅳ
5時 ～6時	【主題学習】 地球温暖化	問い：地球温暖化の現状はどのようになっているのだろうか <small>地球温暖化の現状から「IPCC」は協力の方向性について思考・判断・表現する。</small>	国際的な取り組みを参考に地球温暖化対策を考察する。 地球環境問題に取り組むグローバルな視点を身に付ける。	Ⅰ Ⅱ
7時 ～8時	【主題学習】 地図や地理情報システムで捉える現代世界	問い：地理院地図からどのような課題が読み取れるのだろうか <small>地理院地図を活用し、生活圏の地域の課題を読み取る。</small>	地図や地図情報システム(GIS)を活用して様々な課題に気づく。	Ⅲ
	事後評価	1. 教科への興味・関心に関する調査 2. 地図や地理情報システムの情報を読み取ることにに関する調査		

【評価の観点】

- I 社会的事象の地理的な思考力・判断力・表現力
- II 地理的な態度と価値観
- III 地理的技能
- IV 地理に関する基礎的知識・概念

【地理に関する基本概念】

- ① 位置や分布
- ② 場所
- ③ 人間と自然環境との相互依存関係
- ④ 空間的相互依存作用
- ⑤ 地域

単元計画

A 地図や地理情報システムで捉える現代世界

(1) 地図や地理情報システムと現代世界

主な視点：位置や分布

GIS

時	各自の主題	各時の問いと主な活動	各時のねらい(評価の場面)	評価の観点
	事前調査	1. 教科への興味・関心に関する調査 2. 地球温暖化に関する事前認識調査 3. 地図や地理情報システムに関する事前認識調査		
1時 ～2時	【主題学習】 地図や地理情報システムで捉える現代世界	問い：現代社会はどのように表現されているのだろうか	地図や地理情報システムとして様々な表現方法があることを理解する。	
3時	方位や時差の存在	問い：時差の違いはどのように利用されているのだろうか 時差の存在を知り、時差の違いが利用されている例を調べる。	時差の違いが利用されている例を知る。	IV
4時	日本の位置と領域と 国家間の結びつき	問い：日本はどこまで日本なのだろうか 日本の領域を地図から読み取り、国家の存在を地理的に理解する。	国家という存在を通してこれからの地域の在り方や国家の存在を理解する。	
5時 ～6時	【主題学習】 地球温暖化	問い：地球温暖化の現状はどのようになっているのだろうか 地球温暖化の現状から国際的な協力の方向性について思考・判断・表現する。	国際的な視点から地球環境を捉える視点を持つ。	
7時 ～8時	【主題学習】 地図や地理情報システムで捉える現代世界	問い：地理院地図からどのような課題が読み取れるのだろうか	地理院地図や地理情報システムを通じて様々な課題を読み取る。	
	事後評価	1. 教科への興味・関心に関する調査 2. 地図や地理情報システムの情報を読み取ることにに関する調査		

一般図と主題図

現代的の地理的な諸課題と
絶対値・相対値, 標高

標高と
地理情報システム
(地理院地図)

【評価の観点】

- I 社会的事象の地理的な思考力・判断力・表現力
- II 地理的な態度と価値観
- III 地理的技能
- IV 地理に関する基礎的知識・概念

25

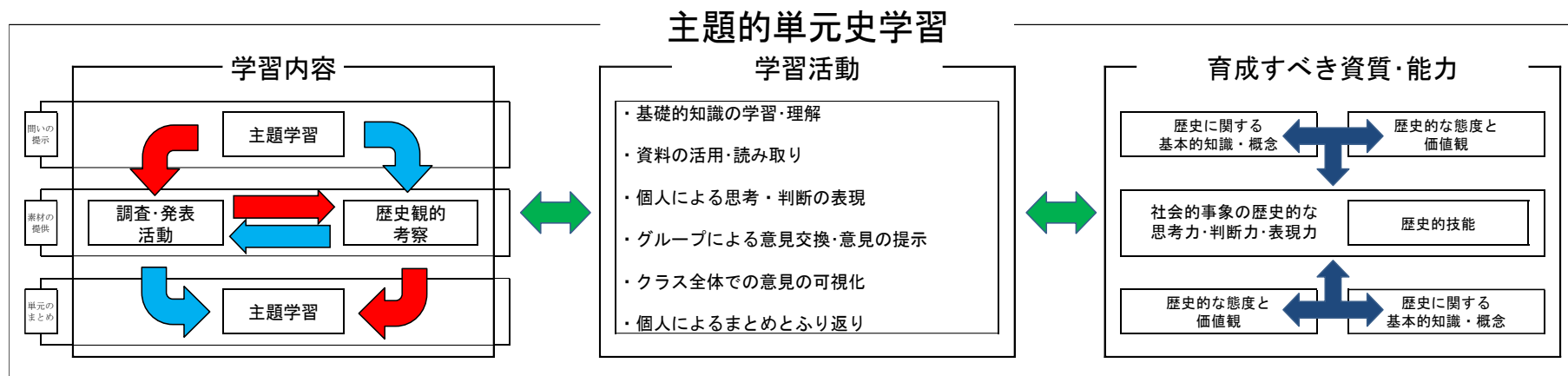
【地理に関する基本概念】

- ① 位置や分布
- ② 場所
- ③ 人間と自然環境との相互依存関係
- ④ 空間的相互依存作用
- ⑤ 地域

「歴史総合」

近現代に関わる諸事象について、
世界と日本の相互関連及び融合的視
点からとらえることで、「現代的諸
課題」の形成に関わる近現代の歴史
について能動的に学習する「**主題的
単元史学習**」

「歴史総合」



年間計画

	主題学習	「問」（歴史的考察）、活動
A 歴史の扉	「現代の諸課題」歴史的に考える	
	「近代以降の社会」の特徴は ・資料から何がわかるか ・地域と世界の結合がなぜ強まったのか	(1) 歴史と私たち (2) 歴史の特質と資料
B 近代化と私たち	近代国民国家は、何を背景に誕生し、後世にどのような影響を与えたか？	
	・産業革命と市民革命は、何を背景に誕生し、どのような変革をもたらしたか ・アジア諸国は、西洋の衝撃を受けながら、どう変容し独自の近代を迎えたか ・日本の近代国家はどう形成され、アジア・世界にどのような影響をあたえたのか	(1) 近代化への問い (2) 結び付く世界と日本の開国 (3) 国民国家と明治維新 (4) 近代化と現代的な諸課題 調査発表 紳士君と豪傑君どちらを支持するのか？
C 国際秩序の私たちが変化するや大衆化と	資本主義の発展は、国際関係と社会にどのような変容をもたらしたのか？	
	・20世紀、大衆社会はなぜ誕生し、社会をどう変えたのか ・第一次世界大戦後、ソ連が誕生し、民族自決の動きが高まったのはなぜか ・なぜ再び世界大戦は始まり、何をもちたのか。日本はなぜ戦争を推進したのか	(1) 国際秩序の変化や大衆化への問い (2) 第一次世界大戦と大衆社会 (3) 経済危機と第二次世界大戦 (4) 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 調査発表 戦争回避不可能地点はどこか？
D グローバル化と私たち	戦後世界はどのように変容したか。持続可能な社会に向けての課題とは？	
	・戦後誕生した三つの世界は、それぞれが何を主張したのか ・冷戦後も各地の紛争や格差が解消できないのはなぜか ・グローバル化が世界に与えた影響はなにか。どのような課題が生まれたか	(1) グローバル化への問い (2) 冷戦と世界経済 (3) 世界秩序の変容と日本 (4) 現代的な諸課題の形成と展望 調査発表 持続可能な世界に向け私たちに何が出来るか？

A 歴史の扉	「現代の諸課題」歴史的に考える	
	<p>「近代以降の社会」の特徴は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料から何がわかるか ・地域と世界の結合がなぜ強まったのか 	<p>(1) 歴史と私たち</p> <p>(2) 歴史の特質と資料</p>
B 近代化と私たち	<p>近代国民国家は、何を背景に誕生し、後世にどのような影響を与えたか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業革命と市民革命は、何を背景に誕生し、どのような変革をもたらしたか ・アジア諸国は、西洋の衝撃を受けながら、どう変容し独自の近代を迎えたか ・日本の近代国家はどう形成され、アジア・世界にどのような影響をあたえたのか 	<p>(1) 近代化への問い</p> <p>(2) 結び付く世界と日本の開国</p> <p>(3) 国民国家と明治維新</p> <p>(4) 近代化と現代的な諸課題</p> <p>調査発表 紳士君と豪傑君どちらを支持するのか？</p>
	<p>資本主義の発展は、国際関係と社会にどのような変容をもたらしたのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20世紀、大衆社会はなぜ誕生し、社会をどう変えたのか ・第一次世界大戦後、ソ連が誕生し、民族自決の動きが高まったのはなぜか ・なぜ再び世界大戦は始まり、何をもちたのか。日本はなぜ戦争を推進したのか 	<p>(1) 国際秩序の変化や大衆化への問い</p> <p>(2) 第一次世界大戦と大衆社会</p> <p>(3) 経済危機と第二次世界大戦</p> <p>(4) 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題</p> <p>調査発表 戦争回避不可能地点はどこか？</p>
D グローバル化と私たち	<p>戦後世界はどのように変容したか。持続可能な社会に向けての課題とは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦後誕生した三つの世界は、それぞれが何を主張したのか ・冷戦後も各地の紛争や格差が解消できないのはなぜか ・グローバル化が世界に与えた影響はなにか。どのような課題が生まれたか 	<p>(1) グローバル化への問い</p> <p>(2) 冷戦と世界経済</p> <p>(3) 世界秩序の変容と日本</p> <p>(4) 現代的な諸課題の形成と展望</p> <p>調査発表 持続可能な世界に向け私たちに何ができるか？</p>

B 「近代化と私たち」の展開と評価

	中項目	小項目等	授業テーマ等	評価の観点
		事前調査	1. 歴史への興味・関心に関する調査 2. 各テーマへの興味・関心に関する調査	
(1)	近代化への問い	・映画「レミゼラブル」を読み解く ・移民と植民－世界と日本－	<多彩な資料をもとに> 工業化の進展と社会の変容の関わりなどについて考察 →自身の問 移民（植民）の増加と社会の変容との関係を考察 →自身の問	I
(2)	結び付く世界と日本の開国	18世紀アジア経済と社会	清の経済発展と日本 (アジアの商品生産と流通の仕組みの独自性とは何か)	ⅢⅣ
			アジアの世界商品と西欧消費社会の成立 (綿、茶はどう扱われたのか)	ⅢⅣ
		工業化と世界市場の形成	イギリスの産業社会化ーロンドンの変容ー (工業化は社会をどう変えたのか)	ⅢⅣ
			清朝・朝鮮の「近代」化（ウエスタンインパクトを受け、中国・朝鮮が目指した改革とは何か）	ⅢⅣ
			「開国」から「産業革命」へ (日本の産業革命はどうやって達成できたのか)	ⅢⅣ
ボンベイ航路と神戸・大阪 (帝国主義体制下のアジア地域間交易とは)	ⅢⅣ			
(3)	国民国家と明治維新	立憲体制や国民国家形成	環大西洋革命 (米独立と仏革命：市民革命は何を生み出したか)	ⅢⅣ
			国民統合と労資対決（労資対立はなぜ起こったのか、国民統合をどう進めたのか）	ⅢⅣ
			アメリカの発展と奴隷・先住民・移民 (アメリカのマイノリティ問題とは)	ⅢⅣ
			明治日本の「一国独立」 (日本はどのように国民国家をめざしたのか)	ⅢⅣ
	列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容	大日本帝国の成立：領土、憲法、教育 (明治国家の二面性とは)	ⅢⅣ	
		東アジアの中の日清戦争 (東アジアの秩序はどう変化したのか)	ⅢⅣ	
		世界史の中の日露戦争 (日露戦争がもたらした結果とは)	ⅢⅣ	
(4)	近代化と現代的な諸課題	b 平等・格差	A 「各国（米・英・仏・日・露・土等）の国民国家形成期はいつか？」 *各国の歴史教科書の調査・発表活動 B 「紳士君か豪傑君か」 (明治の日本が進むべき方向とは) 価値判断、 討議 *東アジア秩序の転換と日本の植民地（資料） 「三酔人経綸問答」(口語)資料読解	I
		d 統合・分化		II
		e 対立・協調 「東アジア秩序の転換」		
		事後評価	1. 歴史への興味・関心に関する調査 2. 各テーマへの興味・関心に関する調査 3. 学習内容上の知識・理解に関する調査	

【評価の観点】

- I 社会的事象の歴史的な思考力・判断力・表現力
- Ⅲ 歴史的な技能

- II 歴史的な態度と価値観
- IV 歴史に関する基本的知識・概念

学習活動

調査・発表



学習活動

直交座標系シンキングツール



学習活動

地理院地図



学習活動

掛地図・ホワイトボード



學習活動

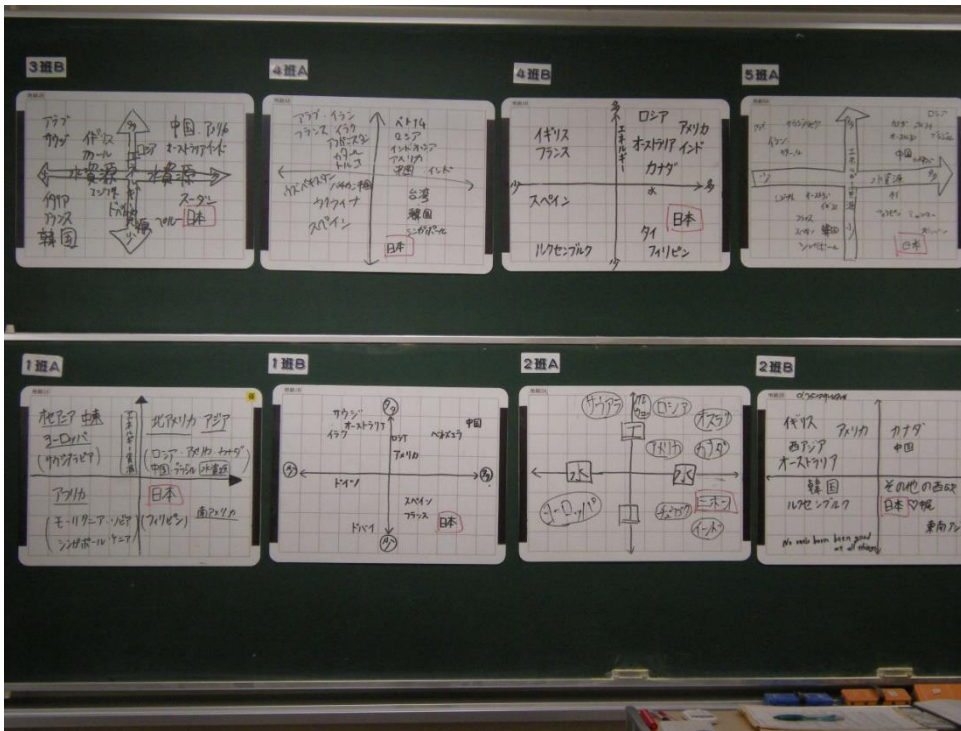
資料



学習活動

ホワイトボード

役割分担



学習活動

ホワイトボード



学習活動

付箋



学習活動

T字型の机配置・4人組



学習活動

T字型の机配置・4人組



問いに対して

- ↓ **個人で向き合う**
- ↓ **グループで共有する**
- ↓ **学級で共有する**
- ↓ **個人で向き直す（ふり返り）**
- ↓ **さらに 学級で共有する**

学習活動

学習活動の深化(問い1)



学習活動

学習活動の深化(問い2)



学習活動

学習活動の深化(問い3)



学習活動

学習活動の深化(問い4)



「地理総合」

2019年度4月調査（期待する気持ち）

		主体的な学び		地理的技能	
4	思う	41	37.6	36	33.0
3	わりと思う	59	54.1	60	55.0
2	あまり思わない	9	8.3	12	11.0
1	思わない	0	0.0	1	0.9

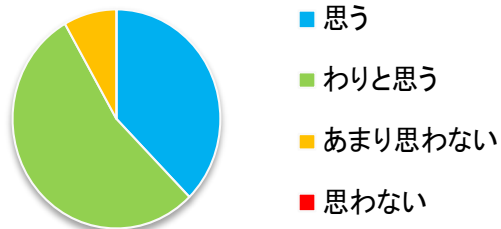
(人) (%) (人) (%)

10月調査（実施後の感想）

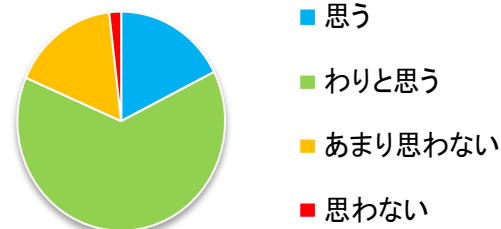
		主体的な学び		地理的技能	
		19	17.6	36	33.3
		69	63.9	62	57.4
		18	16.7	9	8.3
		2	1.9	1	0.9

(人) (%) (人) (%)

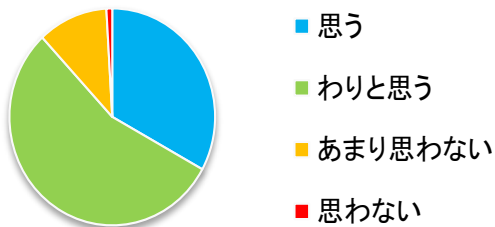
主体的な学び4月



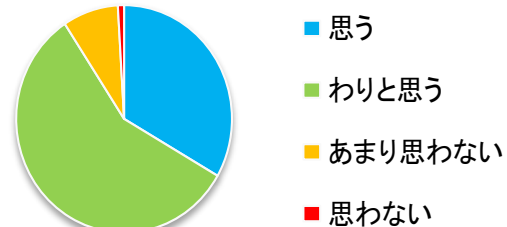
主体的な学び10月



地理的技能4月



地理的技能10月



「歴史総合」

2019年度4月調査（期待する気持ち）

		主体的な学び		歴史的技能	
4	思う	45	41.3	51	46.8
3	わりと思う	54	49.5	45	41.3
2	あまり思わない	10	9.2	13	11.9
1	思わない	0	0.0	0	0.0

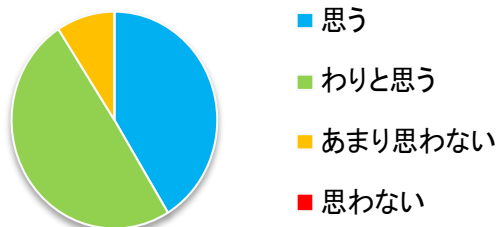
(人) (%) (人) (%)

10月調査（実施後の感想）

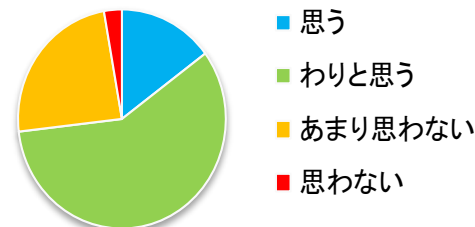
		主体的な学び		歴史的技能	
		16	14.8	35	32.4
		63	58.3	53	49.1
		26	24.1	18	16.7
		3	2.8	2	1.9

(人) (%) (人) (%)

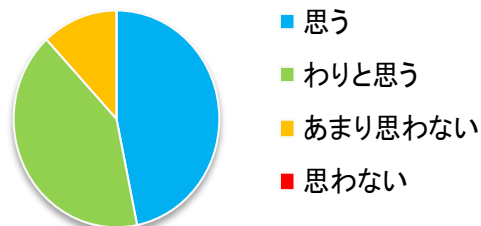
主体的な学び4月



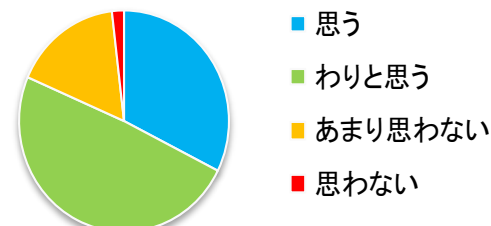
主体的な学び10月



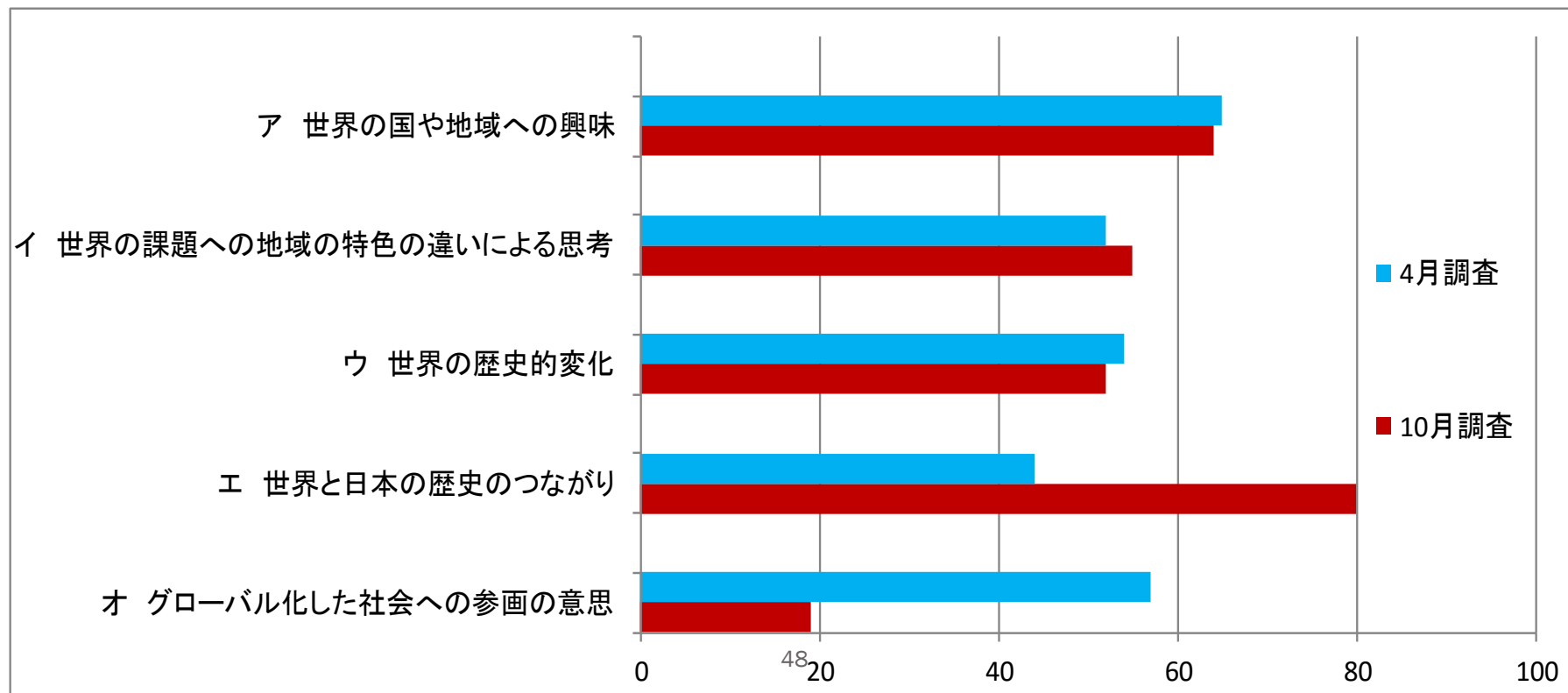
歴史的技能4月



歴史的技能10月



		4月調査		10月調査	
ア	世界の国や地域への興味	65	59.6	64	59.3
イ	世界の課題への地域の特色の違いによる思考	52	47.7	55	50.9
ウ	世界の歴史的变化	54	49.5	52	48.1
エ	世界と日本の歴史のつながり	44	40.4	80	74.1
オ	グローバル化した社会への参画の意思	57	52.3	19	17.6
		(人)	(%)	(人)	(%)



汎用性の検証

平成29年度 第2回運営指導委員会

「地理総合」の部分的実践の報告

小橋拓司教諭（兵庫県立加古川東高等学校）

「歴史総合」の部分的実践の報告

水嶋正稔主幹教諭

（兵庫県立芦屋国際中等教育学校）

※現 兵庫県立出石高等学校教頭

汎用性の検証

平成30年度 第1回運営指導委員会

「歴史総合」の部分的実践の報告

妙見健太郎教諭（兵庫県立播磨南高等学校）

平成30年度 第2回運営指導委員会

「地理総合」の部分的実践の報告

泉 貴久教諭（専修大学松戸高等学校）

「歴史総合」の部分的実践の報告

川島啓一教諭（同志社高等学校）

汎用性の検証

令和元年度 第2回運営指導委員会

「地理総合」の部分的実践の報告

嶽山敏嗣教諭（北海道釧路商業高等学校）

「歴史総合」の部分的実践の報告

大木匡尚主幹教諭（東京都立府中高等学校）

**※東京都立農業高等学校所属時の部分的
実践を報告**

研究の概要②

中学校社会科地理・歴史的分野での
学習内容を踏まえた「地理総合」
「歴史総合」の実践を通して中学校
社会科との関連性を明確にする。

関連性の検証

平成29年度 第1回運営指導委員会

「歴史総合」の実践

世界の一体化を説明するための教科書を作る。

中学校社会科歴史的分野の実践

アメリカ独立宣言の文章から、人々の願いと近代思想を読み取る。

関連性の検証

平成29年度 第2回運営指導委員会

「地理総合」の実践

中学校社会科地理的分野の実践

鳥取市と釧路市の都市計画などを対称性と類似性の視点で比較する過程をへて、神戸都市ビジョンについて多面的・多角的な視点で見つめ直す。

関連性の検証

平成29年度 第2回運営指導委員会

「歴史総合」の実践

中江兆民の『三酔人経綸問答（さんすいじんけいりんもんどう）』を読み解く。

中学校社会科歴史的分野の実践

モンゴル帝国の領土拡大の要因を資料から読み取る。

関連性の検証

平成30年度 第1回運営指導委員会

「歴史総合」の実践

中学校社会科歴史的分野の実践

福澤諭吉の『文明論之概略』から、明治初年における「国家」の「独立」とはどのような意味を持っているのかを読み解く。

関連性の検証

中学生は先生に忠実に先生の言っていることをそのまま書き，発言もそのままである。

高校生は少し引いて，自分の問題として答えており，ここが違うのだと感じた。

関連性の検証

「地理総合」

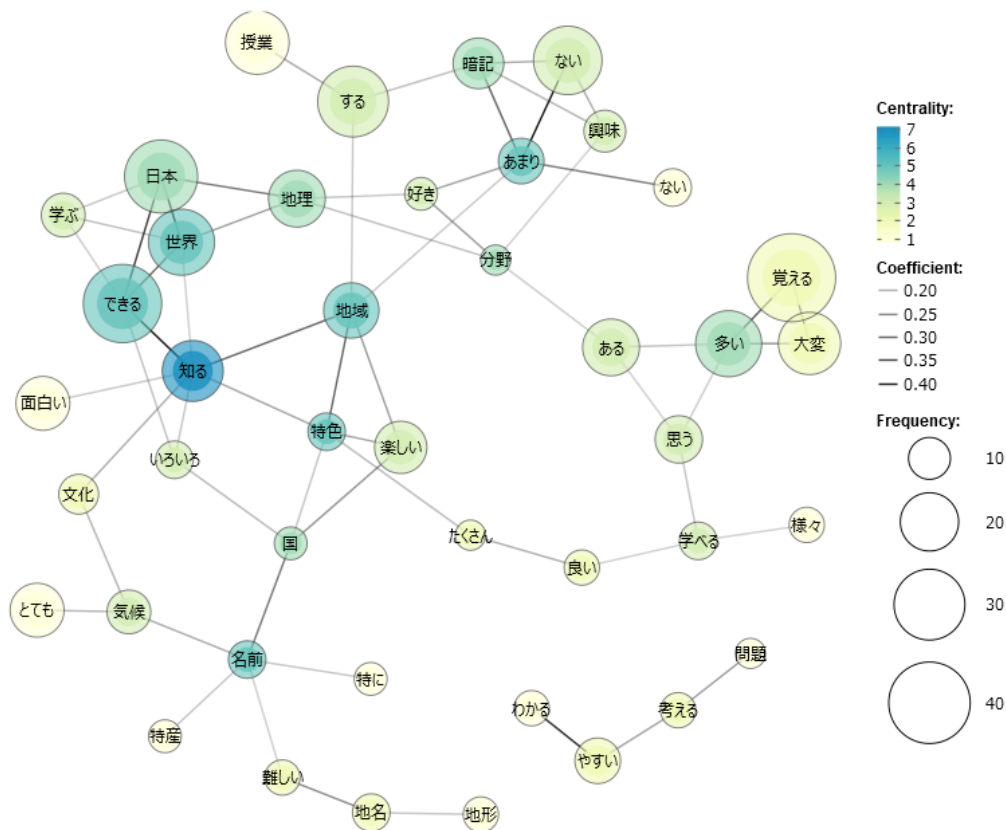
名詞			動詞			形容詞		
中学地理	地理総合	地理総合	中学地理	地理総合	地理総合	中学地理	地理総合	地理総合
平成30年4月	平成30年10月	平成31年3月	平成30年4月	平成30年10月	平成31年3月	平成30年4月	平成30年10月	平成31年3月
日本	32 地理	46 地理	66 覚える	48 できる	51 できる	72 多い	26 難しい	22 面白い
世界	26 授業	36 授業	37 できる	37 考える	38 考える	56 大変	23 多い	18 良い
授業	24 知識	19 世界	31 知る	22 わかる	34 知る	29 面白い	17 面白い	12 様々
地域	18 世界	18 地域	25 思う	13 思う	32 思う	23 楽しい	16 良い	12 多い
暗記	15 理解	17 特徴	21 学ぶ	12 知る	15 わかる	19 いろいろ	8 様々	11 難しい
気候	11 地域	15 社会	15 学べる	8 違う	13 学ぶ	15 苦手	7 楽しい	11
興味	10 内容	15 気候	14 わかる	7 覚える	12 見る	13 様々	7 大変	9
特徴	10 テスト	14 自分	13 考える	7 受ける	8 感じる	7 難しい	7 いろいろ	8
テスト	10 問題	11 問題	13	見る	7		詳しい	8
	興味	10 知識	13	深める	7		深い	8
		課題	12					
		現地(化)	11					
		総合	11					
		理解	10					

「言葉を学ぶというよりは、その言葉の知識を使い、今どのような課題に立ち向かっているのか、どのような成果を上げてきたのかを考えながら学ぶ感覚でとても刺激がある。」

関連性の検証

「地理総合」

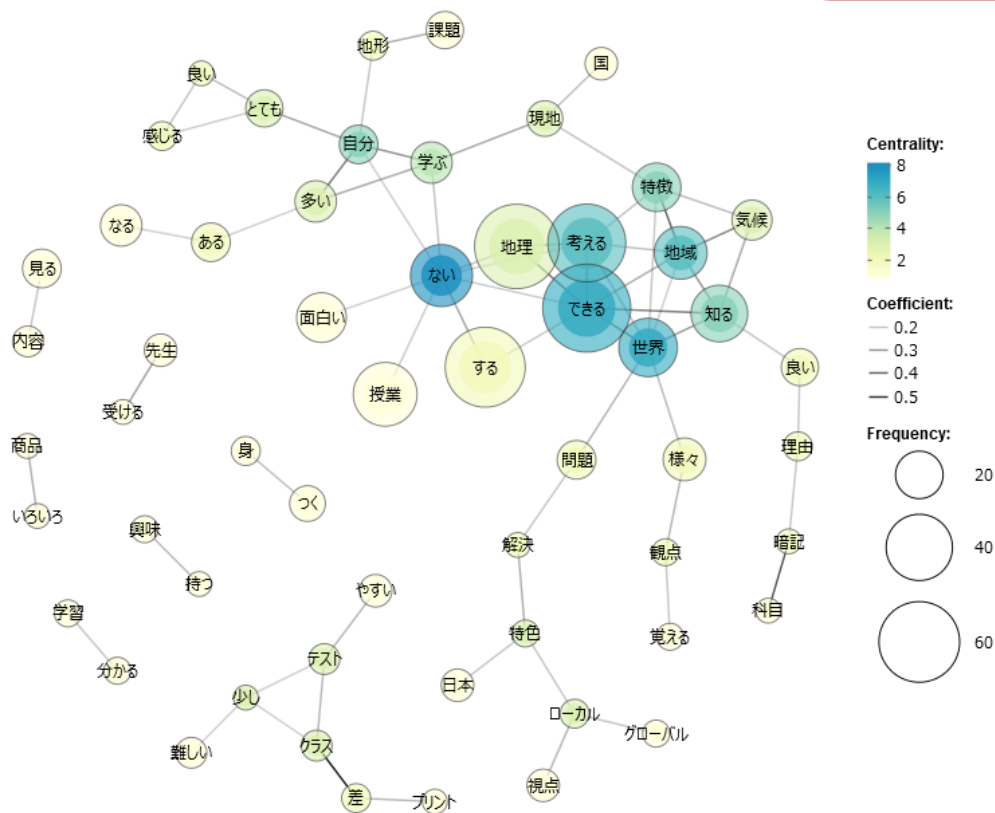
H30
4月



関連性の検証

「地理総合」

H31
3月



関連性の検証

「地理総合」

名詞						動詞						形容詞																									
平成26年3月	平成27年3月	平成28年3月	平成29年3月	平成30年3月	平成31年3月	平成26年3月	平成27年3月	平成28年3月	平成29年3月	平成30年3月	平成31年3月	平成26年3月	平成27年3月	平成28年3月	平成29年3月	平成30年3月	平成31年3月																				
授業	59	授業	41	地理	55	授業	60	授業	61	地理	66	できる	45	できる	53	できる	78	できる	78	できる	101	できる	72	楽しい	23	楽しい	27	面白い	29	面白い	30	楽しい	30	面白い	22		
地理	40	世界	33	授業	39	地理	42	地理	58	授業	37	わかる	37	わかる	28	思う	47	わかる	49	考える	62	考える	56	面白い	22	面白い	17	楽しい	28	楽しい	24	面白い	25	良い	12		
興味	29	興味	19	世界	37	興味	27	気候	34	世界	31	知る	19	知る	20	学ぶ	38	思う	33	思う	41	知る	29	良い	16	良い	13	多い	17	多い	21	難しい	21	様々	16		
世界	22	気候	18	地域	28	世界	27	世界	32	地域	25	学ぶ	18	学ぶ	16	知る	32	学ぶ	39	知る	41	思う	23	多い	13	多い	10	深い	9	良い	14	詳しい	15	多い	15		
内容	21	地理	18	資料	26	地域	18	理解	32	特徴	21	思う	16	覚える	13	わかる	29	考える	32	わかる	41	わかる	19	様々	11		良い	9	様々	11	多い	15	問題	13			
気候	19	理解	13	興味	24	理解	17	地域	26	社会	15	覚える	12	思う	10	考える	26	知る	24	学ぶ	19	学ぶ	15	深い	9		様々	8	難しい	10	様々	14	難しい	8			
地域	15	前期課程	11	理解	16	気候	15	自分	19	気候	14	使う	10	学べる	8	読み取る	13	覚える	17	いう	15	見る	13	苦手	8			深い	9	深い	14						
ノート	13	地域	11	前期課程	15	自分	15	興味	17	自分	13	見る	8		持つ	12	持つ	10	関連付ける	14										良い	12						
学習	12	ノート	11	自分	14	資料	13	資料	13	知識	13	持つ	8		感じる	10	受ける	8	持つ	13									好き	8							
理解	11	内容	10	集団	14	内容	12	知識	13	課題	12	持てる	8		受ける	10		覚える	12										違い	8							
知識	10			暗記	14	特徴	11	文化	13	現地(化)	11				覚える	9		感じる	12										興味深い	8							
				気候	10	地形	10	学習	12	総合	11							見る	12																		
				予	10	説明	12	理解	10									受ける	11																		
						特徴	11																														

関連性の検証

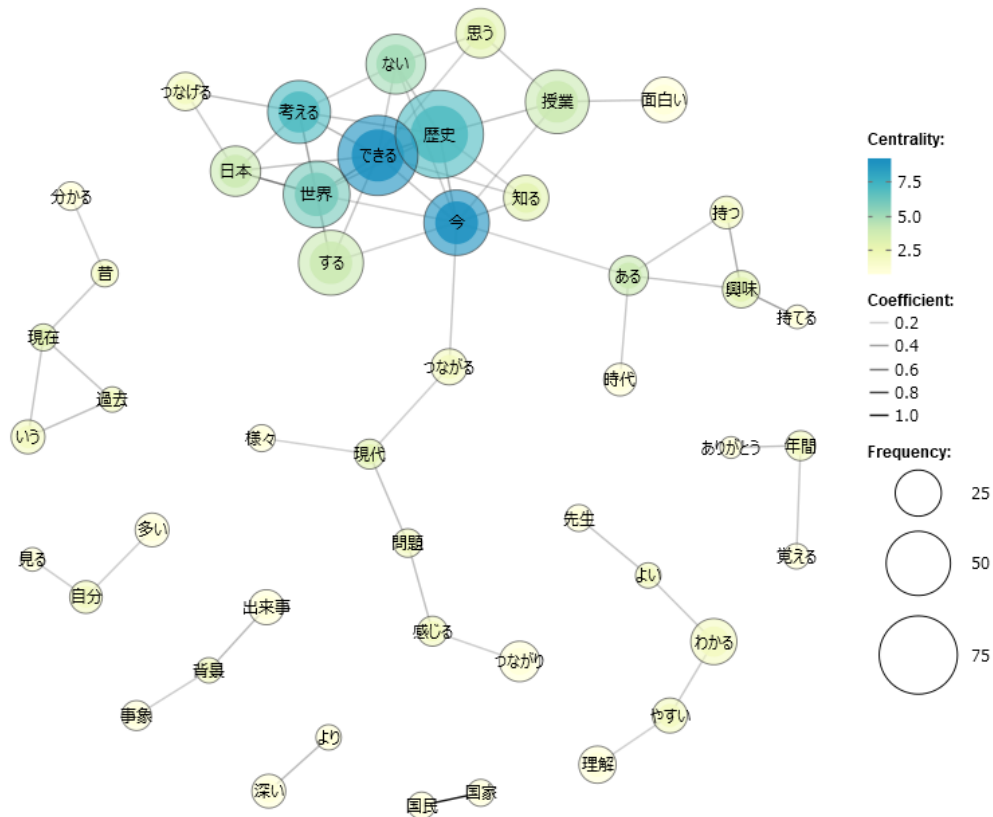
「歴史総合」

名詞				動詞				形容詞									
中学歴史	歴史総合		歴史総合	中学歴史	歴史総合		歴史総合	中学歴史	歴史総合		歴史総合						
平成30年4月	平成30年10月		平成31年3月	平成30年4月	平成30年10月		平成31年3月	平成30年4月	平成30年10月		平成31年3月						
歴史	39	歴史	68	歴史	96	できる	42	できる	52	できる	81	面白い	18	多い	26	面白い	24
日本	28	世界	46	世界	54	覚える	24	考える	49	考える	48	多い	17	面白い	25	良い	24
授業	23	日本	43	授業	49	知る	21	思う	35	わかる	34	楽しい	15	難しい	21	楽しい	22
出来事	15	授業	27	日本	30	学ぶ	19	学ぶ	25	思う	29	好き	11	良い	19	深い	13
時代	14	流れ	19	つながり	19	わかる	19	わかる	24	知る	24	良い	9	深い	16	多い	13
世界	14	つながり	19	興味	16	思う	13	知る	15	学ぶ	23	難しい	8	楽しい	13	様々	8
流れ	13	学習	15	理解	16	考える	8	覚える	13	つなげる	20	深い	7				
理解	13	小集団	14	出来事	14	起こる	7	違う	12	つながる	17						
興味	10	国	13	時代	12			感じる	10	持つ	12						
		自分	12	自分	12			つなげる	8	感じる	10						
		理解	12	総合	12			つながる	7	起こる	9						
		時代	11	現代	10					受ける	8						
				事象	10					覚える	7						
				年間	10					起きる	7						

関連性の検証

「歴史総合」

H31
3月



関連性の検証

「歴史総合」

名詞						動詞						形容詞																							
平成26年3月	平成27年3月	平成28年3月	平成29年3月	平成30年3月	平成31年3月	平成26年3月	平成27年3月	平成28年3月	平成29年3月	平成30年3月	平成31年3月	平成26年3月	平成27年3月	平成28年3月	平成29年3月	平成30年3月	平成31年3月																		
世界	45	歴史	31	歴史	90	歴史	75	歴史	92	歴史	98	できる	45	できる	58	できる	89	できる	74	できる	93	できる	81	面白い	26	良い	25	面白い	26	面白い	32	面白い	26	面白い	24
歴史	36	世界	21	授業	50	授業	52	世界	52	世界	54	わかる	41	考える	23	思う	44	考える	46	わかる	32	考える	48	楽しい	14	楽しい	16	多い	20	楽しい	23	深い	20	良い	24
授業	31	集団	16	世界	35	世界	43	授業	35	授業	49	知る	19	わかる	20	考える	38	思う	40	思う	44	わかる	34	詳しい	14	多い	14	楽しい	12	良い	22	難しい	20	楽しい	22
興味	21	日本	14	興味	27	理解	24	流れ	32	日本	30	学ぶ	18	知る	19	わかる	27	わかる	40	考える	39	思う	29	多い	14	面白い	10	深い	12	難しい	19	楽しい	18	深い	13
人物	14	授業	12	流れ	26	出来事	21	日本	31	つながり	19	思う	16	思う	9	知る	26	学ぶ	29	学ぶ	31	知る	24	難しい	11		難しい	10	大変	14	多い	18	多い	13	
理解	15	興味	12	理解	23	調査	19	理解	29	興味	16	覚える	12	学ぶ	8	持つ	20	知る	23	知る	31	学ぶ	23	深い	8		良い	10	深い	13	良い	13	様々	8	
日本	12	自分	11	自分	23	自分	18	つながり	24	理解	18	使う	10	学べる	7	学ぶ	19	つながる	16	つながる	30	つながる	20	大変	7		苦手	9	多い	10	好き	9			
時代	10	力	10	時代	19	興味	16	内容	18	出来事	14	見る	8	読み取る	7	感じる	15	感じる	15	覚える	14	つながる	17	良い	7				丁寧	7	大変	8			
		資料	10	問い	17	内容	16	興味	17	時代	12	持つ	8		つながる	21	覚える	9	感じる	13	持つ	12							詳しい	7	様々	8			
				小集団	17	時代	12	時代	16	自分	12	持てる	8		覚える	14	持つ	9	つかむ	11	感じる	10							様々	7	苦手	7			
				出来事	16	問い	12	出来事	16	総合	12				受ける	13	受ける	8	持つ	10	起こる	9								必要	7				
				日本	12	流れ	12	自分	13	現代	10				変わる	8	起こる	7	起こる	8	受ける	8													
				内容	12	単元	11	知識	13	事象	10				言う	7	見る	7	見る	7	覚える	7													
				発表	10	日本	11	暗記	12	年間	10				深める	7		作る	7	起きる	7														
				視点	10	発表	11																												
						ニュース	10																												

研究の概要③

「地理総合」「歴史総合」で培った
グローバル人材としての資質・
能力を発展的に活用する**選択履修**
科目との関連性を検証する。

関連性の検証

平成30年度 第2回運営指導委員会

「地理総合」の実践

地域共同体などで国際関係を良好に保つ秘訣
をクラスで共有する。

地理Bの実践

関係構造図を踏まえ、身近な地域の中心市街
地の活性化のポイントについて考察する。

関連性の検証

平成30年度 第2回運営指導委員会

「歴史総合」の実践

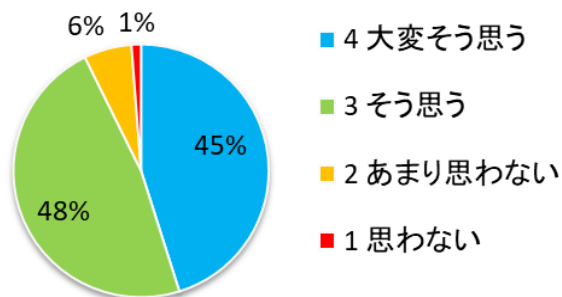
婦選獲得同盟宣言の資料を分析し、「普通」ということばの意図を考察する。

日本史Bの実践

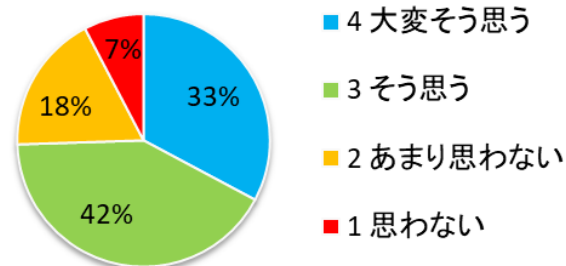
孫文の「大アジア主義」演説資料を読み解き、孫文への質問をつくる。

「地理総合」

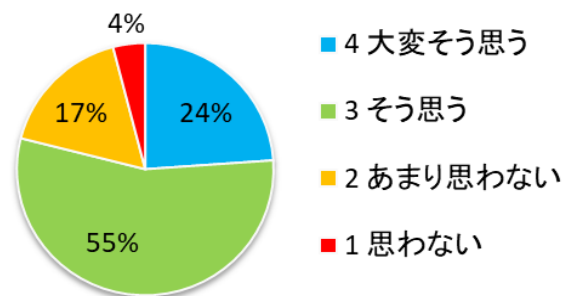
4学年の授業は生徒参加型であったか？
地理



4学年の授業は受験のための知識・技能の
習得に役立っているか？地理

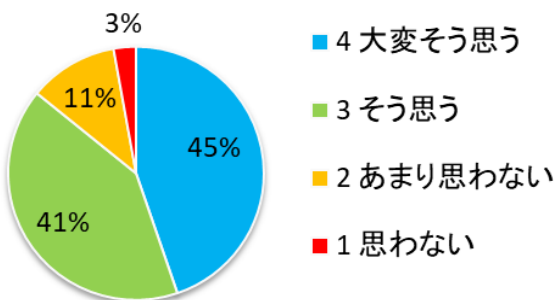


4学年の授業は社会で必要な力が身についた
か？地理

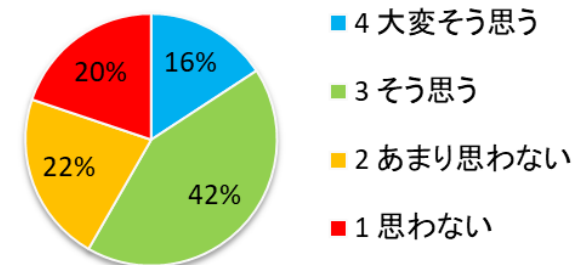


「歴史総合」

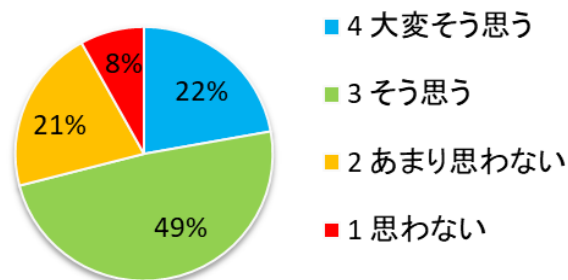
4学年の授業は生徒参加型であったか？
歴史



4学年の授業は受験のための知識・技能の
習得に役立っているか？ 歴史



4学年の授業は社会で必要な力が身についた
か？ 歴史



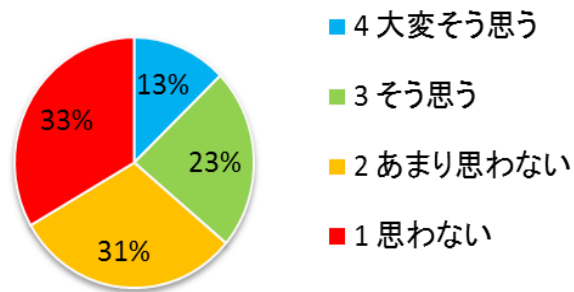
「歴史総合」

H24
高1

4学年の授業は生徒参加型であったか？
歴史



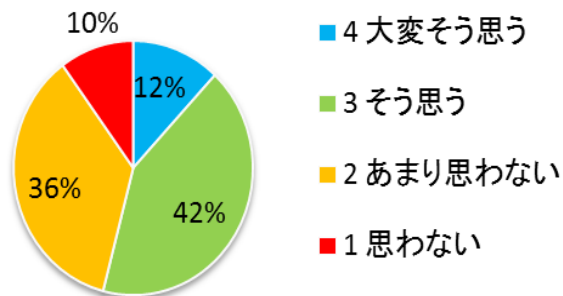
4学年の授業は受験のための知識の習得に役立っているか？ 歴史



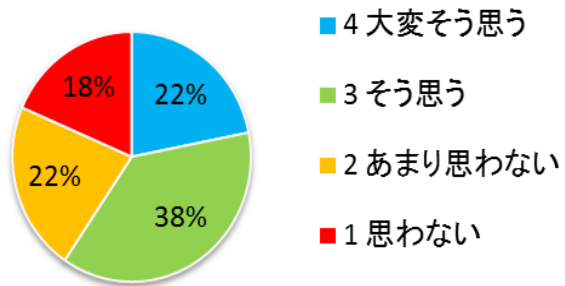
H26
高3

H25
高1

4学年の授業は生徒参加型であったか？
歴史



4学年の授業は受験のための知識の習得に役立っているか？ 歴史

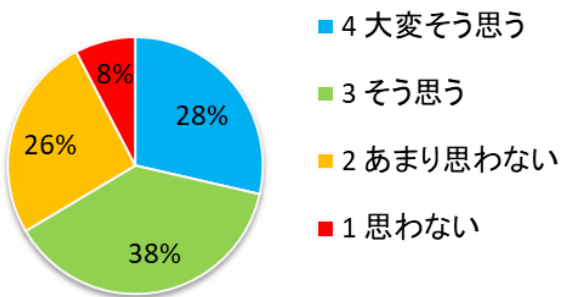


H27
高1

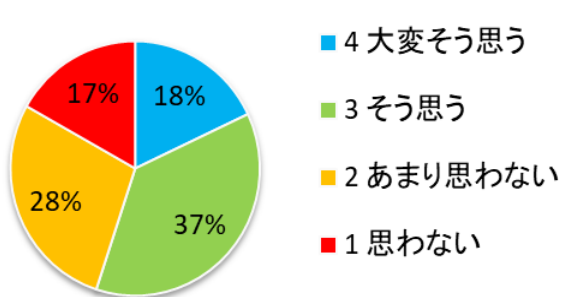
「歴史総合」

H26
高1

4学年の授業は生徒参加型であったか？
歴史

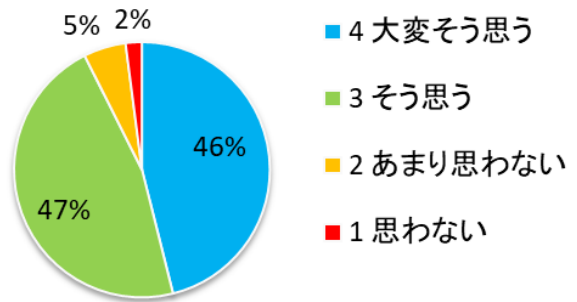


4学年の授業は受験のための知識の習得に
役立っているか？歴史



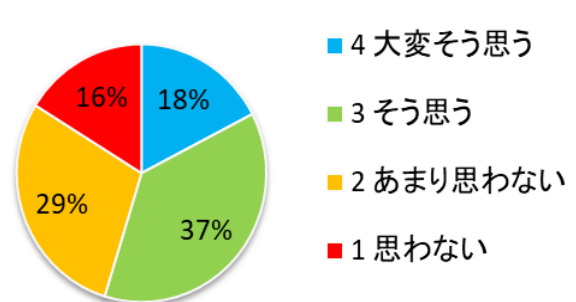
H28
高3

4学年の授業は生徒参加型であったか？
歴史



H27
高1

4学年の授業は受験のための知識の習得に
役立っているか？歴史

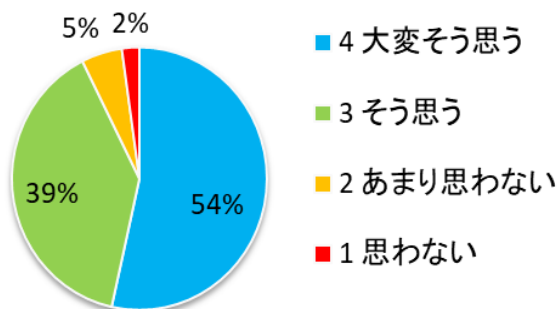


H29
高1

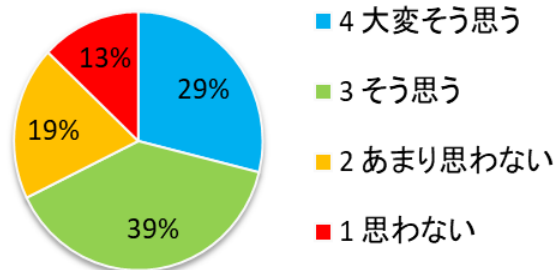
「歴史総合」

H28
高1

4学年の授業は生徒参加型であったか？
歴史

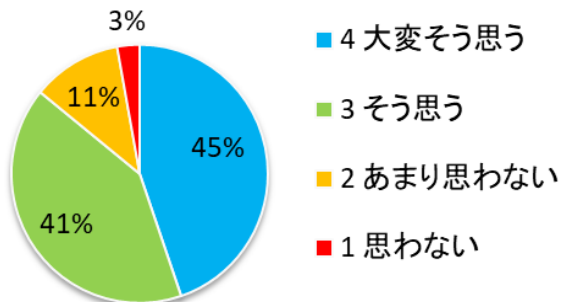


4学年の授業は受験のための知識・技能の
習得に役立っているか？ 歴史



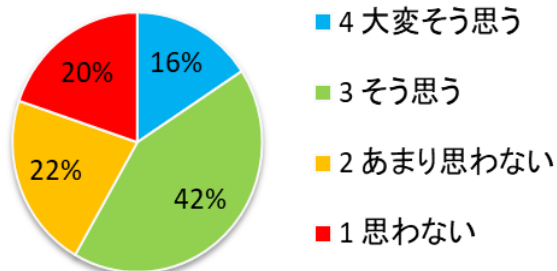
H30
高3

4学年の授業は生徒参加型であったか？
歴史



H29
高1

4学年の授業は受験のための知識・技能の
習得に役立っているか？ 歴史



R01
高1

研究の概要④

グローバル人材として必要な思考力や判断力，表現力等の資質・能力がどう育成されたかについて評価問題を作成・実施し検証を行う。

評価

2015. 12. 8 (秋学期中間考査)

2016. 12. 9 (秋学期中間考査)

	0	1	2	3	総計
	1	2	1	1	5
	2		1	2	5
	5	2		2	9
	5	2	1	1	9
	22	4	3	1	30
	14		3		17
	13	2	2	1	18
	24	3	1	1	29
	14		1		15
	10				10
	5				5
	5				5
	4				4
	3				3
	1				1
総計	128	15	13	9	165

	0	1	2	3	総計
		2	3	3	8
			3	2	5
	3	5	2	4	14
	8	5	2	4	19
	11	3	9	2	25
	2	8	4	6	20
	9	4	7	1	21
	16	6	5	6	33
	7	7		2	16
	3	2	3	1	9
	5				5
	1			1	2
					0
	1				1
					0
総計	66	42	38	32	178

**学習評価は毎時の授業実践で見取ることが
できるものではなく、単元などのまとまりの
中で、変容を見取る中で評価することができ
る。資質・能力の育成を見通した学習内容や
学習活動などの年間指導計画が概ね整うまで
は、評価の場面の設定が困難であるため、十
分な検証までには至らない。**

また、資質・能力の育成を目指す「地理総合」「歴史総合」の部分的実践の報告による汎用性の検証は進んだが、「地理総合」「歴史総合」全体を見据えた実践でなければ、学習評価の部分的実践による汎用性の検証は不可能であることも明確となった。